

工事事例

ポリウレタ樹脂防水と硬質断熱パネルの複合工法による厨房床の改修工事

多摩防水技研(株)

工事概要

工事名称：厨房床防水補修工事
 施工会社：多摩防水技研(株)
 施工日：2021年3月
 施工部位：鮮魚厨房床
 施工面積：20㎡

工事詳細

厨房施設の床は、衛生管理が厳しく求められることから、毎日の洗浄は不可欠になっている。洗浄作業の強力な洗浄剤と剛毛なブラシによる摩擦は、厨房床の仕上材の高い負荷となるため、既設の仕上材の種類にもよるが劣化を早める条件となる。また、改修工事を検討した場合、店舗営業への影響を最小限に留めるため、早期開放、臭気発生抑制などは必須となっている。

本稿はこれらの諸条件を考慮して提案した、



写真1 施工前状況

当社製品であるポリウレタ樹脂系防水と硬質断熱パネルの複合工法「リムクロン」が採用された、鮮魚店の厨房床の改修工事の事例である。

工法採用の経緯

施主の担当責任者は、以前からポリウレタ樹脂系防水に興味を抱いていたことから、当該施設で同工法を提案した。施主はこれまでの厨房床の改修工事では、一般的な塗り床材を採用してきた。今回は、改修工事による工場の通常作業の停止を避けたいと望んでいたことから、①簡易施工②工期短縮③居ながら施工が可能である同工法をご検討いただいた結果、床に多少の不陸があっても施工が可能で、工場作業や設備機器の荷重に耐えられる圧縮強度を確保していることなども優位性となり、採用に至った。

施工上のポイント

現場は、常に厨房内作業が稼働しているため、下地には油汚れや水分が残留しており、一般的な下地清掃では施工品質の確保が難しい状態と判断された。課題を解決するため、当社の速乾性の高い湿潤面用のプライマーを採用。そのほか、粉塵や臭気発生の回避が課題となった。臭気発生を軽減するため溶剤系の材料の使用を極力避けた。粉塵を軽減させるため、成形品を使用することで、現場作業を可能な限り削



写真2 湿潤面用プライマー使用状況

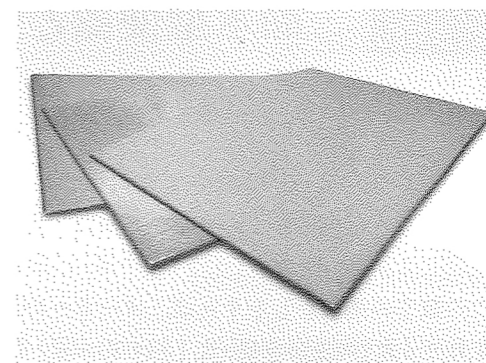


写真4 ポリウレタ防水断熱パネル



写真3 ポリウレタ樹脂系接着剤塗布状況



写真5 ポリウレタ樹脂系接着剤兼シーリング材の打設

減させた。

同工法は、当社工場ですべて防水材とトップコートで加工して成形品となったポリウレタ防水断熱パネルを使用するので、現場における工程を軽減させる。また、厨房施設の使用環境を考慮して、防汚タイプや防滑タイプといった特別仕様も工場生産が可能である。

現場では、同パネルを二成分形のポリウレタ樹脂による接着剤兼シーリング材で施工する。つまり、完成した床はポリウレタ樹脂によるシームレスの断熱防水層ともいえる。

まとめ

断熱性能のある芯材に強靱で高耐久の防水層をミリ単位で加工する技術を当社は有している。この技術を活用することで、床工事だけではなく、建物全体を長期的に維持保全することを目的とした新技術の開発を推進している。防



写真6 施工完了後

水工事会社であり材料製造企業でもある当社は、一つひとつの技術を最適な状態でエンドユーザーに提供できる体制を構築している。これからはさらなる技術の開発と改良に取り組み、材工一貫で時代の要求に応じていく方針である。

(管理部 部長 藤本 幸一)

写真1 施工前状況（カラー）



写真2 湿潤面用プライマー使用状況（カラー）



写真3 ポリウレア樹脂系接着剤塗布状況（カラー）



写真4 ポリウレア防水断熱パネル（カラー）

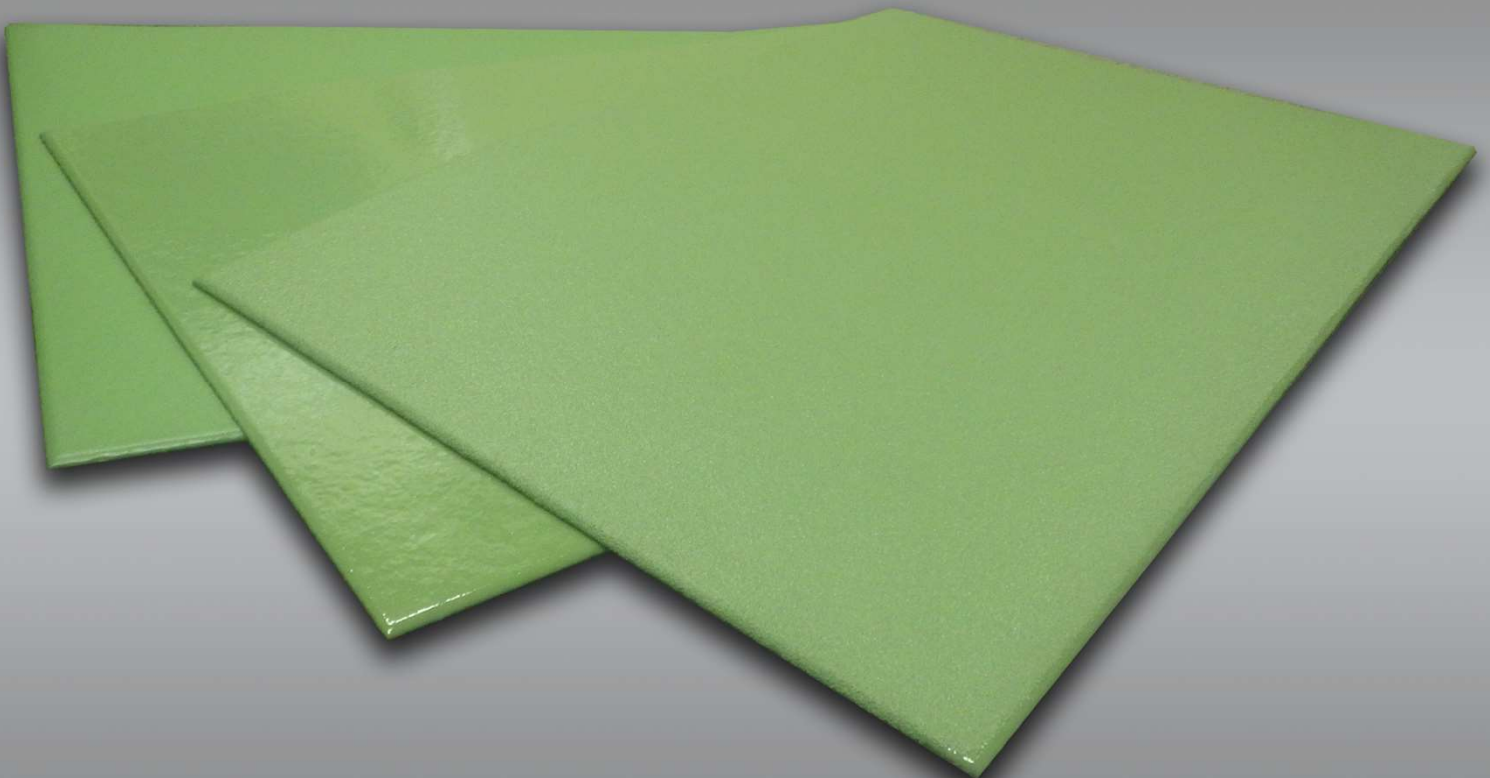


写真5 ポリウレア樹脂系接着剤兼
シーリング材の打設（カラー）

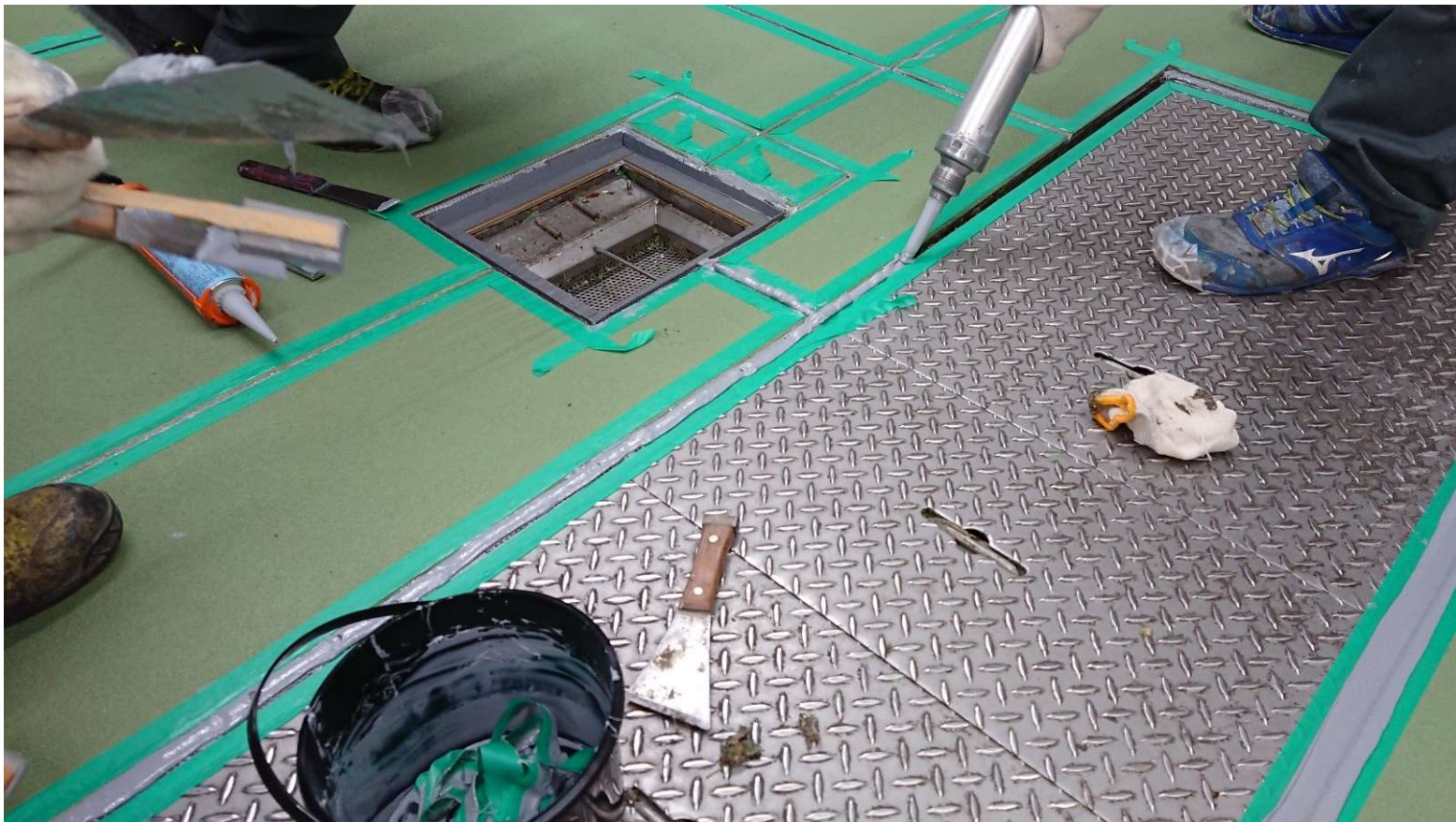


写真6 施工完了後（カラー）

